

うけん

No.164

令和4年
5月発行



議会だより



❀ 田検中学校 ❀



❀ 久志小中学校 ❀



❀ 田検小学校 ❀



❀ 阿室小中学校 ❀



❀ 名柄小中学校 ❀

△ 村内小中学校入学式 [R 4. 4. 6] △

令和4年度
当初予算決まる!!

32億5,275万8千円

前年度対比 3.93%増

単位：千円

1. 議会費	58,893	8. 消防費	136,005
2. 総務費	590,911	9. 教育費	303,957
3. 民生費	502,841	10. 災害復旧費	8
4. 衛生費	222,086	11. 公債費	456,107
5. 農林水産費	387,862	12. 諸支出金	1
6. 商工費	58,252	13. 予備費	5,000
7. 土木費	530,835		

歳出合計 3,252,758 千円

一般会計「主な予算」



総務費

財産管理費
防災行政無線操作卓更新業務

2,530万円



土木費

防災安全社会資本整備事業
工事請負費 (田検名音線・赤土山線)

約5,338万円



農林水産業費

農林水産物輸送コスト支援事業費
補助金

約7,517万円



消防費

非常備消防費
備品購入費 (平田分団小型ポンプ積載車)

600万円



目次

令和4年度当初予算決まる 3P

予算審査特別委員会委員長報告 &
第1回定例会内容 4~5P

一般質問 6~11P

外来種駆除活動 12P

議会だよりについてご意見をお聞かせください

議会だよりは定例会ごとに年4回発行し、各世帯に配布しています。内容については、定例会の概要や一般質問の要旨等を掲載していきます。今後も「分かりやすく・親しみやすい」議会だよりの作成を目指し取り組んでいきます!!

皆様からのご意見をお待ちしております☆

【お問い合わせ先】議会だより編集委員会

電話：67-2211 メール：gikaijimukyoku@uken.net

令和4年

第1回定例会

令和3年度補正予算

- ・専決処分（令和3年度宇検村一般会計補正予算）について
- ・宇検村一般会計
- ・宇検村国保事業特別会計
- ・宇検村簡易水道事業特別会計
- ・宇検村農業集落排水事業特別会計
- ・宇検村介護保健事業特別会計



その他

- ・宇検村観光拠点施設「ケンムンの館」及び宇検村活性化センター「結いの館」指定管理者の指定について
- ・宇検村過疎地域持続的発展計画の一部変更について
- ・工事請負変更契約（宇検集落防災会館新築工事）について
- ・工事請負変更契約（美長良団地1号棟改修工事）について
- ・工事請負変更契約（令和2年度観光拠点連携整備事業）について

条例

- ・宇検村観光施設の設置及び管理等に関する条例の制定について
- ・宇検村報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について
- ・宇検村印鑑の登録および証明に関する条例の一部を改正する条例について
- ・宇検村簡易水道設置及び維持管理条例の一部を改正する条例について
- ・宇検村農業用トラクター耕耘機及び農機具使用条例の一部を改正する条例について
- ・宇検村農業用大型機械運営協議会設置条例の一部を改正する条例について
- ・宇検村地区生活館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
- ・宇検村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

人事

- ・宇検村教育委員会委員の任命について
高田 浩志 氏（宇検） 同意

あなたも、議会を傍聴してみませんか

議会は、村の予算や身近な問題について話し合う大切な場です。ぜひ、傍聴においでください。

- 定員(26名)の範囲内で、どなたでもご自由に傍聴できます。

※感染症対策のため席数を制限する場合があります。

- 受付票に住所・氏名を記入していただくだけです。
- 感染症予防のためマスクの着用をお願いします。
- 第2回定例会は、6月初旬を予定しております。



令和4年度宇検村一般会計・特別会計予算審査報告



予算審査特別委員会
委員長 肥後 充浩

《一般会計予算について》

歳入・歳出総額は3,252,758千円で前年度に対し123,005千円増額で、前年度対比3.93%の増額予算となっている。歳入の主な内訳は、自主財源の村税は133,628千円で、前年度対比1.3%の減となっており、繰入金が540,913千円で、前年度対比23.4%増額予算となっている。本年度も基金からの繰入れによつての予算編成であり、新たな自主財源増の施策が求められている、財政健全化による行財政運営を強く望む。歳出の主な内訳の性質別の割合は、義務的経費は42% 投資的経費は18% その他40%公債費は前年度より40,000千円増額計上されており、今後も増加傾向が予想され、歳出予算を圧迫している現状である。今後とも財政健全化を念頭に、自主財源の増加や、公債費負担比率を改善する努力を望む。

《特別会計予算について》

7特別会計歳入歳出総額1,011,345千円、前年度対比4.4%、42,354千円の増額予算となっている。国保事業は、前年度対比0.8%の増となっており、国保施設事業24.4%増となっている。簡易水道事業については、使用料の見直し等財政健全化の取り組みが見られるが、施設の老朽化に伴う施設更新費の負担が増大することが見込まれることから、引続き財政の健全化に取り組んでいただきたい。特別会計は、一般会計からの繰り入れで維持運営されており、いまだに一般会計を大きく圧迫している状況である。特に漁港漁村集落排水事業は、維持管理費も増大することが懸念され、施設の統廃合など、今後の運営が重要な課題である。

《意見・質疑》

- ・七ヶ宿町交流事業に関して、品物のやり取りだけでなく、人的交流や販路拡大等、地域の活性化を考え、できることから少しずつでも事業を進めるべき。
- ・スポーツ合宿誘致に向けた積極的な取り組みをお願いしたい。
- ・体育館横の公園整備について、観光拠点施設と連携を図る為再整備の必要があるのではないかと。
- ・雇用の確保が困難な村内事業者に対し「どんどんかごしま移住就業・企業支援事業」を広報し雇用の確保、定住促進につなげてはどうか。
- ・診療所建設について、役場庁舎と一緒に建設をアンケート調査を実施したうえで検討してもらえないか。

《審査の結果》

令和4年度一般会計予算は、前年度対比3.93%増額予算となっており、保健、福祉の充実に努め、観光連携施設を中心とした観光の促進、地域共生の確立、交流人口の促進を図る予算案であると考えられる。しかし、本年度も基金からの繰入れによる予算編成がなされ、依然として自主財源が乏しく依存財源に頼っている状況の中、引き続き、財政健全化の運営に取り組むべきである。村民の福祉向上に努め、時代の変化に伴い発生する様々な課題に早急に対応する柔軟性のある行財政運営に職員一丸となって取り組むことを強く望む。

聞きちやせ
知りちやせ



高台避難所の再検討は
倉本富夫議員



農地中間管理機構の今後のあり方は
喜島孝行議員

村政を問う 一般質問



診療所建設時期は
肥後充浩議員



今後のたんかん農家育成に
についての対策は
寿山新太郎議員



一般会計予算増額の要因と
重点施策は
吉永常明議員

診療所建設時期は 令和10年度までに建設予定



肥後 充浩 議員

(肥後) 本年度実施設計とあるが、建設計画には賛成だが、建設計画はいつ決定したのか。

(村長) 令和2年8月の会議において、村の公共施設整備において、診療所は優先的に施設整備を行う旨を決定し、関係課へ指示した。

(肥後) 役場庁舎及び診療所は、地域住民の生命財産を守る防災面での拠点施設である。建設には住民のアンケートや、説明会等を行い、広く意見を聞いた上で判断して頂きたいと答申したが。

(村長) 大島郡医師会「地域医療ビジョン×未来投資」勉強会の外部委員を医療アドバイザーとして委嘱をし、同月より12月にかけて

6回の協議を開催。今年度には、月1回程度の割合で会議を行い建設に向けての打ち合わせを実施した。昨年12月21日に令和3年度第1回宇検村診療所建設検討委員会を新たに立ち上げ開催した。

(肥後) 診療所の今の場所では台風時に避難できないし、お医者様も行けない、救急搬送も厳しいと考える。村民のアンケート調査等を行い、建設場所の決定をして欲しい。役場と診療所が同一の場所に建設する事で、村民の利便性とか考えても良いと思う。是非もう一度再考をお願いしたい。

防災・災害対策について

(肥後) 1月16日の津波警報で集落別の避難人数は。

(村長) 避難が広範囲であったため正確な人数はわかっていないが、区長さんとの連絡で545人

という数は把握している。

(肥後) 対策本部は設置したのか、防災無線通知はしたのか、又避難場所の周知はしていたのか。滝の園や虹の園等の動けない人の避難状況は。

(総務課長) 警戒本部を設置し総務課職員が5名を中心に対応した。防災無線では4回行った。施設に関しては標高が高いところにあり避難場所になっている為、避難状況は把握していない。

(肥後) 各集落の標高表示板の新設は出来無いか。特に湯湾集落の中には表示板はなかったが。

(総務課長) 当初50設置して9年経ち数字が見えない状況になっている。避難場所の見直しと表示もしっかり備えていきたい。

(肥後) 避難場所までのソーラーの街灯の設置、及び避難場所での街灯の設置は出来無いか。

(総務課長) 全集落の避難場所を見直して検討している。それぞれに合った街灯の設置なり、蓄電池ライトで対応するなり、検討して

観光振興について

(肥後) 観光の目玉であるタエン浜海水浴場や屋鈍海岸の軽石の撤去作業は出来無いか。

(村長) タエン浜海水浴場は、3月に発注予定。又現在関係機関と協議中であり、協議終了後委託業務の発注を行う。

(肥後) 佐念から先の県道脇の草木の伐採は道路から海面が見えるように出来無いか。

(村長) 標高の高い所からタエン浜海水浴場までの500m区間が見えないが現時点での伐採計画はない。

(肥後) 3年か4年に1度伐採すれば当分は維持できるので、もう一度検討をお願いしたい。

今後のたんかん農家育成についての対策は 新規参入・園地整備の支援を



寿山 新太郎 議員

(寿山) 「うけんブランド確立事業」のたんかんブランド化について、今年度の事業成果は。

(村長) 概算取扱量で6.7t。

昨年度より倍増しており、取扱量の増加は、本事業の成果であると思われる。

(寿山) 将来を見据えたブランド化の更なる施策は。

(村長) 3年間の成果・アンケート調査・反響等の分析を行い、次のブランド化に繋げる施策を検討していく。

(寿山) 将来、たんかん農家離れが懸念され、若い担い手農家の育成が重要になってくるが、苗木等の購入補助などの支援は出来ない

か。

(村長) 今後、若い担い手農家の方々と意見交換しながら、出来る限りのサポートを検討していく。

観光の振興について

(寿山) 観光客増加に向けた新たな観光施策は。

(村長) 「ケンムンの館」を中心に、村内の「楽しさ・面白さ・学び」を発信し、それに共感した方々が

宇検村に来村する観光形態を「宇検村型観光形態」と位置づけ、更なる観光確立を目指していく。

(寿山) 観光に重要である、宿泊施設について、空き家等を活用した民泊やゲストハウスの新設などに力を入れていく必要があると思うが、支援対策も含めた施策は。

(企観課長) 空き家等、利活用がいかに行けるのか、そういったニーズを踏まえながら、行政として

も支援等を検討していく。



▲「ケンムンの館」▲

労働人口確保について

(寿山) 人口減少は労働人口減少

でもあり、本村の高齢化率は40%を超え、農家、介護の現場等、あらゆる雇用の面で、労働人口確保に不安を抱えつつあるが、今後、これらの問題についての施策は。

(村長) 現在は、人材育成の為の研修や、UIJターン向けの相談

会を実施している。今後は、第二次宇検村まち・ひと・しごと創生総合戦略に沿って関係機関と協議していく。

(寿山) 一番重要なのは、Uターン施策である。本村出身者の学生や、内地で働いている若い方をい

かに宇検村に定住させ、仕事に就かせるか！この様な施策を、創生総合戦略の基本目標として定めるべきでは。

(企観課長) 島を離れ、頑張っている若年層の方々と繋がりを持つ事は、とても重要な事であり、今後、学生等を対象にした施策は、強く検討していかねければならないと考えている。

(寿山) 若い方が少なくなると、集落も活気がなくなり、集落の存続にも影響してくることから、若い方を島に呼び戻す施策立案をお願いしたい。(要望)

(寿山) 村内介護事業者の現状と課題を把握するための、村独自の

実態調査結果は。

(村長) 昨年10月に村内介護事業者に対し、人材確保に関するアンケート調査を実施し、その結果を基に、第3回地域ケア推進会議において報告・検討を行ったところ

である。

過去の質問に対する対応措置について

(吉永) 消防団の方が非常によく避難案内されたが大きな地区の消防団の定員割れはないか。

一般会計予算増額の要因と重点施策は 物件費、扶助費、公債費の増



吉永 常明 議員

(吉永) 一般会計予算が前年度対比3.93%の増となっている要因と重点施策は。

(村長) 物件費と扶助費と公債費の増。物件費は委託料が大半を占めている。扶助費は主に社会福祉総務費の障害福祉サービス給付費。重点施策としては、指定管理者へ積極的に業務委託を進め、村民サービスがより充実するように努める。

(吉永) 償還金よりも起債残高のほうが多いが。

(総務課長) 交付税措置の参入のできる有利な起債を考えている。

今後建設予定事業の進め方は

(吉永) 役場庁舎等をどの様に進めて行くのか。

(村長) 防災会館については今年度劣化度診断、危険箇所の改修を行い、劣化の箇所や規模で判断して改修や建て替えを総合的に判断。診療所は4年度実施設計に入り5年、6年で建設予定。給食センターについては、令和7年度に着工できるように進めて行く。庁舎については基金積み立てを行っているので計画どおり令和10年度までには建設したいと考えている。

県道曾津高崎線の平田工区の進捗状況は

(吉永) 県道曾津高崎線の平田工区の進捗状況と今後の予定は。

(村長) 令和5年度完成予定として3年間延伸している。

(吉永) 橋梁工事の他に工事の箇所が4カ所ぐらいあると思うが令

和5年度で完成見込みなのか。

(建設課長) 令和5年度までの完成は難しい。令和8年から令和9年の完成を目指すという計画になっている。

(吉永) 以前は同じ平田工区でも、2カ所同時に工事進行されていたが。

(建設課長) 強く県に話を持ちかけて進めていきたい。

防災について

(吉永) 津波警報での避難のあり方について伺う。

(村長) 車避難が有効で、これまでの場所に加え全集落避難場所の検討に入っている。

(吉永) 寒さ対策、トイレ対策についてはどうの様な考えか。

(総務課長) 当面の考えとして、簡易テントを準備して設置する。自分自身の防寒対策として防災グッズを広く紹介していく。簡易トイレを3パターンほど検討している。区長さん方と検討しながら進めて行きたい。

残土処理場の計画予定は

(吉永) 残土処理場の計画予定はないか。

(村長) 事業費の抑制が図れないため必要性を感じている。立地場所の十分な検討が必要。今後林地開発行為申請をして進めて行く考え。

(吉永) 残土処理場の候補地についてはどうなっているのか。

(建設課長) 大和村の町村境を因上で考えたが非常に遠く、部連古志線の終点、宇検中央1号線の辺りで最初の初期段階の協議を行っている。

その他の質問

・集落座談会について

高台避難所の再検討は 一部再検討する必要がある



倉本 富夫 議員

(倉本) 今回の津波警報で徒歩、車とどちらが多かったか。
(総務課長) 車避難が多数をしめていた。また車避難が有効であったと再認識し見直しをしていく。
(倉本) 駐車場所や渋滞などの問題が出てくると思うが指定区域に駐車場など整備はできないか。
(総務課長) 大きい道路は片側駐車に対応できると考えている。道幅の狭い場所は路肩を整地して広げられたらと考えている。
(倉本) 蓄電池や外灯を各集落、消防団に配布し避難場所にて活用できないか。
(総務課長) 現在停電時の対策として蓄電池、ライトが12基準備で

きている。当初は各学校に置いて校区で使用する予定であったが今回の事で集落、学校、校区に順次設置していきたい。
(倉本) FMうけん・防災無線のあり方について伺う。

(村長) FMうけんは放送の切り替えで他の放送を流すことができないが災害時には手動で行わなければならないが切り替えに危険が伴う。今回の課題でも情報発信不足が指摘されており、割り込み放送を利用して村民の皆様と同じ情報でも繰り返し発信するよう努める。

(倉本) 防災無線が聞こえない方もいたと聞いたが各個人の家にも置ける防災ラジオの進捗はどうなっているのか。
(総務課長) 自動で起動するラジオであるが、予算で100台見込んで計上している。

農業振興について



▲防災無線受信機能付きラジオ▲

(倉本) たんかんの助成をした農家は何件あるのか。また、加工品のたんかん買取はどうなったのか。

(村長) 今年度の2月末までの事業実施状況だが、委託選果に出された良以上のたんかんを対象に村独自の出荷用段ボール箱を7農家に配布している。概算取扱量は6.7tとなっており、加工用たんかん買取は18農家1137kgとなっている。

(倉本) 買い上げた加工品用たんかんはどうなったのか。
(産振課長) たんかんジュース「濃いに恋して100%」として令和4年度に販売する。

農地中間管理機構の今後のあり方は 農業委員会を中心に連携を取り推進



喜島 孝行 議員

(喜島) 農地中間管理機構の現状や今後のあり方は。
(村長) 現在、湯湾、宇検、平田の3地区を中心に村内耕作地の3分の2にあたる54.3haが農地中間管理事業を活用した農地の貸し借りをしている。今後の対策として現在宇検村では後継者や担い手農家が不足しているが、持続可能な営農計画を立て個人ではなく生産組合や集落などによる集団での営農に繋がられるように、農業委員会を中心に村、県の3者での連携を密に取り、相続未登記農地の解消や話し合い活動、農地中間管理事業の周知に努め、本事業を推進していく。

公共関連施設建設について

(喜島) 公共関連施設建設について。建設時期やその規模は。

(村長) 防災会館については、現在宇検集落を建設しており今年度中に完成する。屋鈍集落も建て替えに向け解体工事に入っている。今後については今年度劣化度診断を行ったので、まず危険箇所の改修を行い、劣化の箇所や規模で判断して改修や建て替えの時期を総合的に判断する。診療所については4年度実施設計に入り、5年、6年で建設予定。給食センターについては、学校給食のあり方検討委員会からは、センター方式で各学校へ配送する方式にした方が良さという検討結果が報告され、建設場所については、須古集落の農協裏の村有地が候補地として望ましいとの報告であった。庁舎につい

ケンムンの館について



▲3月に完成した宇検集落防災会館▲

(喜島) ケンムンの館及びうけん市場の今後は。

(村長) ケンムンの館では、うけん市場と観光総合窓口、グリーンスローモビリティ運行の3つの業務が行われる。そのケンムンの館と結いの館を含めて、令和4年度から行政でなく、指定管理者となる会社が運営を行います。うけん市場も新たな施設の中で村民が生

(倉本) たんかんジュースの販売状況は。

(産振課長) 住用の三太郎の里とうけん市場、ふるさと納税に出しており年度内で完売してる。

(倉本) ふるさと返礼品に出した本数は。

(産振課長) 前年度が50本。今年は担当者の方から150本を予約されている。

(倉本) パイプハウスのリース事業を今年度から実施すると言っていたがハウス面積と申込件数は。

(村長) 設置面積は約210㎡、6m×35mで村民の皆様に応募してもらい1件の事業を実施する計画である。

(倉本) パイプハウスは有償となっているが月どれくらいなのか。
(産振課長) 7年間の間月1万円年間12万円のリース料になっている。

その他の質問

・軽石問題について

産した農林水産物や加工品等を安価で提供し、来客へ喜んでいただけるものと思っている。複数の施設や機能が一体化することによりうけん市場の売り上げの上昇や、村民交流、観光発展へと相乗効果を目指していく。

トンガ沖大噴火に伴う津波警報について

(喜島) 未明の津波警報による一時避難の行動等について。

(村長) 避難行動については消防団の避難誘導や支援もあり迅速な行動がとられたと認識しています。多くの課題が浮き彫りになった。今回多くの方が車で避難したが、暗闇の寒い中では車避難が有効であるという事を実感した。他にも情報発信が足りなかったこと、屋外でのトイレ問題、寒さ対策などについて検証しているところである。

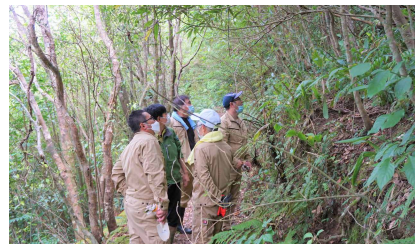


外来種駆除活動

アメリカハマグルマ



令和4年3月16日（水）に湯湾岳公園の登山道入り口付近にて、外来種駆除活動を行いました。奄美大島における外来種対策についての講話と、環境省指導の下、緊急対策外来種である「アメリカハマグルマ」を対象に除草作業を行いました。



全国町村議会議長会表彰 特別功労者表彰

杉浦治俊議長が全国町村議会議長会において、議会の運営及び地域の振興発展に功労があった者として表彰を授与されました。

編集後記

春!!

卒業や入学、異動などで新生活を始めた方々も多いのではないのでしょうか。未だ終息が見えない新型コロナウイルスですが、今年度は、村民の皆さんが楽しみにしておられます、各種行事等についても、コロナを恐れつつも、これまで培ってきた感染対策についての知見を基に、感染状況も考慮しつつ、コロナ禍での開催が出来たらと思っていますところであります。

さて、今回の議会は、令和4年度の当初予算を中心に、これからの宇検村の方向性を決定する重要な議案に活発な質疑応答が行われ議決されました。今後は、可決されました予算が適正に執行されるよう議会全体でしっかりと経過を監視して参ります。

結びに、議会だより編集委員会は、今後も村民の方々に親しまれる議会だよりの作成に努めて参ります。これからも宇検村議会へのご指導方よろしくお願ひ申し上げます。

【発行責任者】

議長 杉浦 治俊

【議会だより編集委員会】

委員長 保池 穂好
委員 壽山 新太郎
委員 倉本 富夫